

これまでの学校跡施設の活用について

光が丘第二小学校跡施設 学校教育支援・人材育成・地域交流【公共的利用】

現在の整備施設

学校教育支援センター（26年4月開設）

教育研究・研修の拠点、教育相談の拠点および教育情報の発信の拠点。

防災学習センター（26年4月開設）

防災に対する意識の向上を図り、地域で活動する人材を育成する「ねりま防災カレッジ事業」の中心拠点。

練馬介護人材育成・研修センター（26年4月開設）

専門性を持った介護従事者の育成と人材確保を支援する拠点。

その他、「地域交流コーナー（地域の方々の交流・活動の場となるフリースペース）」を設置。

光が丘第五小学校跡施設 障害児の発達支援・文化振興・地域交流【公共的利用】

現在の整備施設

こども発達支援センター（平成25年1月開設）

心身の発達に心配のある児童や障害のある児童とその保護者に対し、相談や通所訓練等の支援を行う施設。

【27年度実績】

〔相談受付件数〕 1,739件 〔相談検査件数〕 4,536件 〔訓練件数〕 8,433件

文化交流ひろば（平成25年4月開設）

青少年をはじめとする区民の文化芸術活動、多様な文化を尊重した区民の地域活動の推進、区民相互の交流を図るための施設（音楽練習室や演劇練習室、交流室のほか、多文化共生のための資料などが閲覧できる情報コーナー等を設置）。

【26年度実績】

〔利用件数（延べ利用者）〕 1,544件（18,590人）

その他、「地域交流コーナー（地域の方々の交流・活動の場となるフリースペース）」を設置。

光が丘第三小学校跡施設 産業振興等【民間利用】

現在の整備施設

アオバジャパンインターナショナルスクール（有償貸付）

平成22年 3月～8月

光が丘第三小学校跡施設借受事業者を公募し、光が丘第三小学校跡施設借受候補事業者を株式会社アオバインターナショナルエデュケイショナルシステムズに決定。

平成23年1月

株式会社アオバインターナショナルエデュケイショナルシステムズと「公有財産定期建物賃貸借契約」を締結。（貸付期間：平成24年4月から34年3月まで）

平成24年10月

光が丘キャンパス開校

光が丘第七小学校跡施設 医療【将来利用】

現在の状況

平成27年 6月～

練馬光が丘病院改築に係る基本構想の策定にあたり、建設地（現地建替または跡施設活用）や新たな練馬光が丘病院に求められる医療機能等について、意見や提言をいただくため、「練馬光が丘病院改築に係る基本構想懇談会」を設置（11月まで4回開催）。

平成27年12月

「練馬光が丘病院改築に係る基本構想懇談会」より光が丘第七小学校跡施設を建設地とするのが適当であるとの提言を受ける。
あわせて、光が丘第七小学校跡地に新病院を整備する際の課題が示される。